



師岡 伸公 町長

明けましておめでとうございます。町民皆様には、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃より町政にご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。私は、町民皆様の温かいご支援を賜り昨年5月から町

年頭の挨拶



小峰 陽一 議長

明けましておめでとうございます。町民の皆さまには、令和7年の新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

私は、一昨年12月に町議会の承認を得て議長に就任

長として2期目の町政運営に取り組んでおります。

本年は、昭和30年4月に「氷川町」「古里村」「小河内村」の1町2村が合併して奥多摩町が誕生し、町制施行70周年という大きな節目の年を迎えます。これまで町を支えてくださった先人や町民の皆様へ深く感謝するとともに、歴史と伝統を大切にしながら引き続き持続可能で魅力あふれる町づくりを推進してまいります。

また、令和7年度は、今後10か年にわたり町の指針となる「第6期長期総合計

いたしました。責任の重さを痛感しているところでございます。今後、議長として全力を傾け、円滑な議会運営に取り組んでまいります。

本年は、議会活動を町民皆さまにより深く理解をして頂きますよう、「開かれた議会」を目指し、広報活動に力を注いでいきたいと考えております。町民の声を背景にして、政策を提案し、議論をして、町政を発展さ

画」がスタートする重要な年でもあります。この計画の策定にあたっては、町民皆様からのご意見をいただくために町役場の若手職員によるワーキンググループを設置したほか、町が包括連携協定を結ぶ多摩大学の協力を得て住民ワークショップを開催するとともに、長期総合計画審議会での審議を含め、バランスの取れた計画づくりを推進し、皆様からも多くのご意見・ご提言をいただきました。

そして、昨年12月の町議会で慎重な審議のうえ、「自

せていく、二元代表制の一翼を担う町議会の役割を履行してまいります。

さて、昨年を振り返ってみますと、年頭に発生した能登半島の大地震や、各地で豪雨が発生し、大変な一

年でした。

町では、日原街道の大沢地区でがけ崩れが発生し、日原地区の皆さまにはご不便をおかけいたしました。幸いにして最小限の被害に留める事ができました。町

然の中でわたしがくらしつながら挑戦できるおくたまをまちの将来像とし、「活性化」「持続化」「効率化」を未来をつくる3つのコンセプトとして位置づけました。今後は、現計画で得られた成果と経験を継承するとともに、これからの町の発展にむけて地域の課題に対応した柔軟かつ効果的な施策を展開してまいります。

また、役場の新庁舎建設に向けて、現在、実施設計作業を進めておりますが、近年、気候変動等による自

を取り巻く環境は、毎年変化しております。厳しい財政状況の中で、物価高騰対策、少子高齢化対策、少子高齢化社会に対応した、医療、福祉、教育の充実、近々

に発生が予想されている東南海トラフ地震を考慮した防災、減災対策、第6期長期総合計画、新庁舎建設等の重要な政策課題が山積しております。

私たち議員は、町民の皆さまから選ばれたというこ

然災害が多発する中で地域住民の安心・安全を確保するための重要な「防災拠点」として、「みんなので

つくり、次世代につながる庁舎」として、鋭意各種の作業を進めてまいります。本年も全力で町政運営に取り組んでまいりますので、町民皆様のさらなるご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、新しい年が皆様にとって輝かしい一年となりますようご多幸とご健勝を祈念し、年頭のご挨拶とさせていただきます。

とを肝に銘じて、町民の皆さまが明るい未来を確信できる町を目指し、行政と連携して、課題解決に取り組んでまいります。

今後、町議会活動に対しまして、なお一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

新しい年が、町民皆さまにとりまして、実り多き一年となりますようご祈念申し上げます。新年の挨拶といたします。